若き附中

熊本大学教育学部
附属中学校
学校だより

令和３年３月１１日
第１９号
≪文責：高木≫

第73回卒業証書授与式

3月12日(金)に、本校体育館にて、第73回卒業証書授与式が行われます。これまで附属中をリードしてきてくれた三年生が、この附属中を巣立つときです。めでたくもあり、すこしさびしい日でもあります。

これまでの三年生のリーダーシップに感謝するとともにこれからの三年生諸君の活躍を期待し応援したいと思います。

今年の卒業式は、コロナ感染症対策のため、一・二年生は出席しませんので、一・二年生からのメッセージをここで紹介します。

三年生から学んだこと

二年三組　飽田

ちょうど二年前の今頃、私は附中への進学を控え、期待と不安で一杯だった。入学してからもどことなく不安だった私の心が明確に晴れたのは、野球部に入部し先輩という存在を知ったからだ。私は、先輩方と過ごした中で二つのことを学んだ。

一つ目は、明るく優しく相手に接することの大切さだ。そうすることで下級生が生き生きとし、附中全体が明るくなる。私が野球部に入部した際の自己紹介のとき、先輩方がユーモアを交えながら親しく話して下さった。そのおかげで緊張がほぐれ一瞬で距離が縮まった。このように明るく迎えてもらうことで、入学前の上下関係に対する不安が消えていったのだ。

二つ目は、創造する柔軟性だ。今年度は新型コロナウィルスが猛威を奮い、体育大会の開催自体が危ぶまれた。その中でコロナ禍でも開催できるようにと工夫を重ねた体育大会を創りあげて下さった。楽しむことができた上に大成功を収めることもできた。間違いなく附中史に残る行事となるだろう。

もうすぐ新しい後輩がやってくる。新入生の不安を少しでも軽くし、附中を盛り上げていくのは私たちだ。また新型コロナウィルスのように、どんな試練があるのかも分からない。三年生は、私たちに良いお手本を示して下さった。三年生と共に過ごした経験を活かし、私たち二年生で新たな附中を切りひらいていきたい。三年生の先輩方、私たちにすばらしい背中を見せていただき、本当にありがとうございました。

「初めて」を支えてくれた先輩方

一年四組　遠藤

附属中に入学して、もうすぐ一年が経ちます。この一年は、初めての中学校生活、初めてのオンライン授業のようにたくさんの「初めて」があり、不安がとても大きかったです。そんな中、三年生の先輩方の姿は、とても輝かしく見えました。私が特に印象に残っているのは、駅伝大会での先輩方の姿です。コロナ禍でやれることが限られており、受験勉強も忙しい中、優勝目指し一生懸命頑張る姿は、とても格好良かったです。積極的に呼びかけをし、団を引っ張る姿に総代として大きな刺激を受けました。また、日頃の課活動での積極的に話し合いを行ったり、発言したりする姿も印象深かったです。

このように、先輩方と過ごした時間でたくさんの学びを得て自分自身を成長させることができました。本当にありがとうございました。

来年度は、私達は二年生になります。後輩も入ってきて、後期からは附中を引っ張っていく立場になります。先輩を見習いしっかり附中の伝統を受け継いでいきたいです。

卒業生の皆さんから、卒業記念品として、特別教室用のプロジェクターをいただきました。特に理科室やCP棟での活用が予定されています。ありがとうございました。

※玄関ロビーに文化伝統課（24代井課長）の企画・卒業メッセージの桜と生徒会担プロジェクトが掲示されました。三年生がこれまで行ってきた附中の伝統が確実に在校生へと引きつがれています。